

人権教育に関する特色ある実践事例

基準の観点	学校全体として人権尊重の視点に立った学校づくりが組織的かつ効果的に進められている実践事例
-------	--

1. 基本情報

○都道府県名及び市町村名

島根県松江市

○学校名

松江市立出雲郷小学校

○学校のURL

無し

2. 学校紹介

○学級数

【通常の学級】 1・2年各3学級、3～6年各2学級

【特別支援学級】 2学級 【合計】 16学級

○児童生徒数

【全校児童数】 424人（平成24年11月20日現在）

（内訳：1年生74人、2年生61人、3年生71人、4年生74人、
5年生77人、6年生67人）

○学校の教育目標、人権教育に関する目標など

【学校の教育目標】

「未来を切り開く、豊かな人間性とたくましい実践力をそなえた出雲郷の子どもを育てる」

【めざす学校像】

「認め合い、助け合い、励まし合う学校」

「自ら学ぶ力の育つ学校」

【めざす子ども像】

◆頭を使い、じっくり考える子（知）

◆誰とも助け合う、心豊かな子（徳）

◆体を鍛え、がんばりぬく子（体）

◆笑顔で、あいさつする子

【人権教育に関する目標】

「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認め身近な問題に気づいて解決しようとする子どもを育てる」

○人権教育にかかる取組の全体概要

本校は、平成 22 年度～23 年度の 2 か年において文部科学省の「人権教育研究指定校」となり、それを受け、人権教育を学校の教育活動の基底に据えるとともに、教育活動全体を通して人権教育を推進することにした。

(1) 研究主題

「お互いの大切さを認め合い、共に学び、高め合う子どもの育成」

(2) めざす子どもの姿〈重点目標〉

研究主題に迫るために、A「自尊感情」、B「共感的理解」、C「伝え合う力」、D「問題解決能力」を人権・同和教育重点目標（めざす子どもの姿）」として掲げるとともに、観点別学年目標を設定して取り組んだ。

A 自尊感情

自分を肯定的に受け止め、自分を大切にするとともに、自分のよさを伸ばそうとする子ども

B 共感的理解

他の人の思いや願いを受け止め、相手の立場になって考えることができる子ども

C 伝え合う力

相手の思いや考えを心を開いて受け止めるとともに、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる子ども

D 問題解決能力

身近にある問題に気づき、自分のこととして考え、主体的に行動できる子ども

観点別学年目標				
	低学年	中学年	高学年	ひまわり・たんぽぽ学級
A自尊感情	・自分のよさに気づく。	・自分のよさに気づき、自分を大切にしようとする。	・自分を大切にし、自分のよさをさらに伸ばそうとする。	・自分のよさを知る。
B共感的理解	・友達や身近な人のよさが分かり、仲よくしようとする。	・友達や身近な人のよさや思いが分かり、協力して活動しようとする。	・他の人のよさを認め、かけがえない存在として大切にしようとする。	・友達や身近な人のよさが分かり、仲よくしようとする。
C伝え合う力	・人の話をしっかりと聞き、自分の思いや考えを伝えることができる。	・相手の思いや考えを受け止め、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。	・相手の思いや考えを尊重しながら、自分の思いや考えを的確に伝えることができる。	・人の話をしっかりと聞き、自分の思いや考えを伝えることができる。
D問題解決能力	・身の回りの問題に気づき、解決しようとする。	・身近な生活の中にある問題や不合理に気づき、自分のこととして考え、解決しようとする。	・身近な生活の中にある差別や偏見を見抜き、主体的に解決しようとする。	・自分のできることは、がんばってしようとする。

(3) 研究内容

研究主題及び重点目標の具現化を目指すために、次の 4 つの内容に取り組んだ。

- ①お互いの大切さを認め合う態度を育て、人権意識の高揚を図る授業づくり
- ②お互いのよさを認め合う温かい仲間づくり
- ③地域とのふれあい、人との関わりを大切にした交流活動の充実
- ④研究内容①～③の基盤づくり
 - ・教職員等の研修の充実
 - ・学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進等

お互いの大切さを認め合い、共に学び、高め合う子どもの育成

問題解決能力

身の回りにある問題や差別に対する主体的な行動力

自尊感情



肯定的な自己理解

一人はみんなのために

伝え合う力

みんなは一人のために

共感的理解



肯定的な他者理解

授業づくり（学級）

お互いの大切さを認め合う態度を育て、人権意識の高揚を図る授業づくり

◎学級経営の充実 ◎基礎学力の定着を図る取り組み ◎基礎学力を支え、心を育てる図書館教育

仲間づくり（全校活動）

お互いのよさを認め合う温かい仲間づくり

- ①縦割り班活動の充実
- ②集会活動の充実
- ③委員会活動の充実

交流活動（出雲郷の人・自然・もの）

地域とのふれあい、人との関わりを大切にした交流活動の充実

- ①地域とのふれあい体験の充実
- ②地域の人との関わりを大切にした活動の充実

環境づくり

- ◎教職員等の研修の充実
- ◎心を育てる環境づくり
- ◎学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進

3. 特色ある実践事例の内容

(1) お互いの大切さを認め合う態度を育て、人権意識の高揚を図る授業づくり

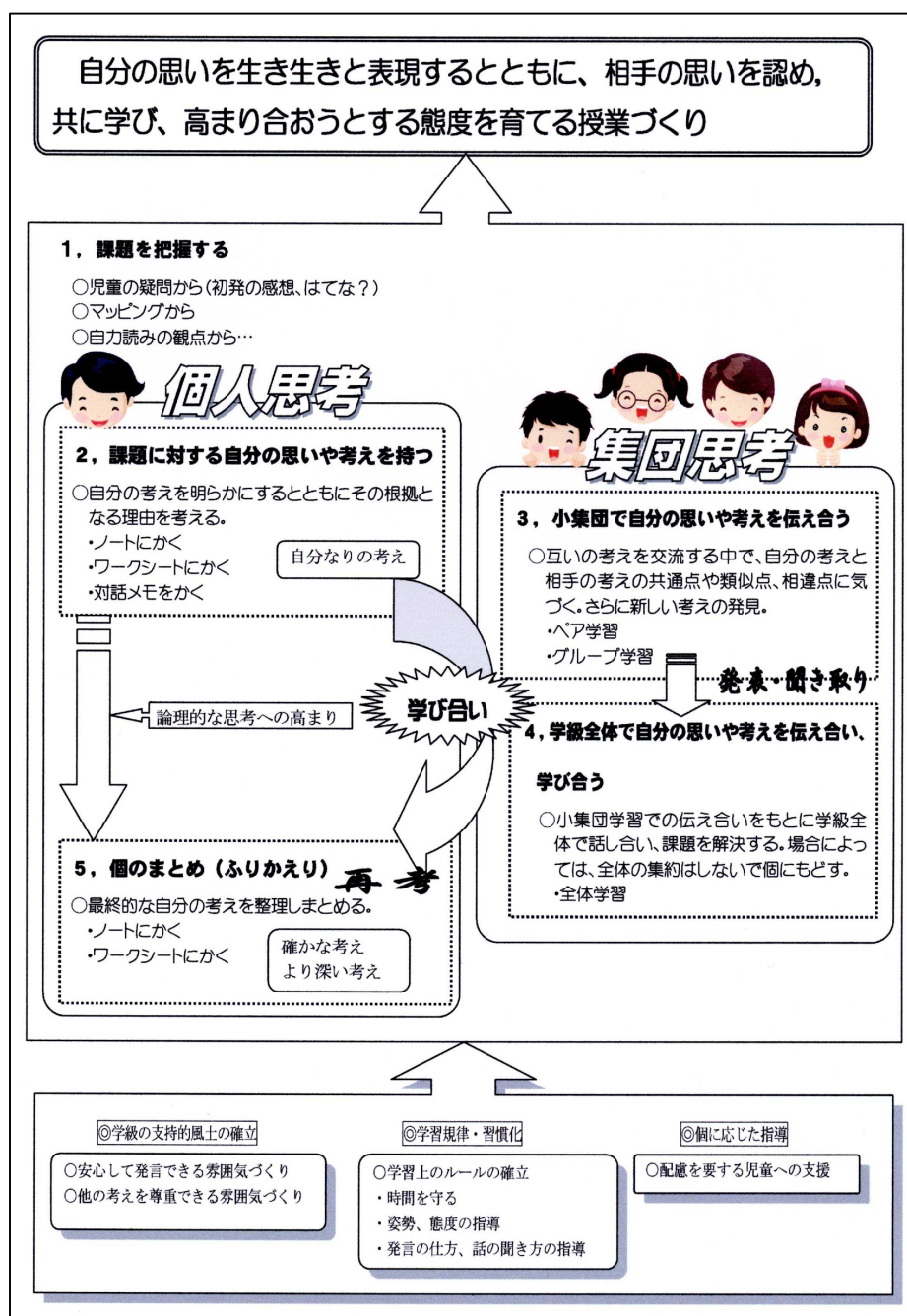
①自分の思いを生き生きと表現するとともに、相手の思いを認め、共に学び、高まり合おうとする態度を育てる授業実践について

○個人思考・集団思考を取り入れた学習形態の工夫

- ・課題に対する自分の考えや思いを確かにもたせたり、まとめたりするために書く活動など「個人思考」の場を取り入れた。



- ・「ペア学習」や「グループ学習」などの小集団学習、さらには全体での話し合いの場（集団思考）を意図的に取り入れ、児童同士が自分たちの思いや考えを伝え合い、認め合い、学び合うことを通して児童一人一人がより確かな、より深い思いや考えをもてるような学習過程を工夫した。



ペア学習の系統性

松江市立出雲郷小学校

	低学年	中学年	高学年
ペア学習のねらい	自分の考えを友達に伝え意見を交流できる児童	自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いて比べたりしながら、意見を交流できる児童	自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いて比べたりしながら自分の考えを深めることができる児童
話合いのねらい	自分の考えを相手に伝えることができる。	自分の考えを相手に伝え、感想を述べ合うことを通して、似ているところや違うところを確認することができる。	自分の考えを伝え合う中で、お互いの考えの共通点や相違に気づくとともに、質問したり、感想を述べ合ったりすることによって、自分の考えをさらに深めたり、新たな考えをもつことができる。相手と同じ考えの場合、自分たちなりの考えをまとめることができる。
話合いの形式	教師 「ペア学習を始めます。今日は、～側から話しましょう。」 児童 「よろしくお願いします」「よろしくお願いします」 児童1 「わたしの考えを発表します。」 児童2 「ぼくの考えを発表します。」		
期待する姿	○自分の考えを言っている。 ○相手の考えを相手の目を見て、うなずきながら聞いている。	○相手の目を見て、自分の考えを言っている。 ○相手の目を見て聞き、反応を返しながら聞いている。感想を言っている。	○相手の目を見て、自分の考えを言っている。 ○相手の目を見て聞き、反応を返しながら聞くとともに、相手の考えに対する自分なりの考えを返したり、質問したりしている。必要に応じてメモをとっている。
反応例	「うん、うん」 「なるほど…」	「◇◇のところがわたしと同じです。」 「◇◇のところがわたしと違います。」 「◇◇の考えがよいと思いました。」	「◇◇のところがわたしと同じです。」 「◇◇のところがわたしと違います。」 「◇◇の考えの〇〇のところがかよいと思いました。」 「◇◇さんの考えを聞いてぼくはこんなことを考えました。」 「〇〇さんはどうしてそのように思いましたか。」 「〇〇さんの考えをもう少し詳しく教えて下さい。」
ペア学習を通して	○自分の考えを伝えることにより、自分の考えがより確かなものになる。 ○相手の考えが分かる。	○自分の考えを伝えることにより、自分の考えがより確かなものになる。 ○自分の意見や考えと同じところ（似ているところ）、違うところ分かる。 ○相手の考えのよさが分かる。	○自分の考えを伝えることにより、自分の考えがより確かなものになる。 ○自分の考えと相手の考えの共通点や相違に気づく。 ○相手の考えのよさが分かる。 ○自分の考えが深まる。新たな考えをもつ。（自分たちなりの考えがまとまる。）

②計画的・系統的な人権学習・同和問題学習の実践について

○人権に関する知的理解を深め、人権感覚を高める指導の実践

人権の意義や内容、同和問題をはじめとする人権課題等にかかわる学習を通じて、人権に関する知的理解を深めるとともに、身近にある矛盾や不合理、偏見や差別に気づくことのできる人権感覚を培うために、授業においては、次のことを工夫して取り組んだ。

- ・子どもたちが「差別事象」「差別への憤り」「差別に立ち向かった人々の生き様」などを自分のこととして考え、つかむことができるような資料の精選。
- ・子どもたち一人一人が、一時間の授業を通して、「差別事象の認識」をし、「差別に対する自分の考え」を広げ・深め、「差別解消への意欲や展望」がもてるような学習過程の工夫。
- ・一人一人の考えを深化したり、広げたりできるような意図的な「個人思考」（一人一人の考えを確かにするための書く活動など）と「集団思考」（ペア学習・グループ学習、全体での話し合いなど）を取り入れるなど、学び合いの工夫。

○人権・同和教育、学年別年間指導計画等の作成

- ・人権学習の年問題材配当表、単元構想図づくり

計画的、系統的な人権学習・同和問題学習を展開するために、学年毎に人権学習年問題材配当表および、人権学習構想図を作成して取り組んだ。

【平成 24 年度 第 4 学年 人権・同和教育年間題材配当表】

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語	こわれた千の楽器	心の動きを文章に書く	一つの花	走れ	ふしぎよかったなあ	こんぎつね	くらしの中の和と洋	世界—美しいほくの村		10才のわたし文章を作ろう	木竜うるし		
社会	住みよいくらしをつくる				きょう土につたわるねがい				わたしたちの県				
理科	あたたかくなると		→	あつくなると	→	すずしくなると	→	→	さむくなると	→	生き物の一年をふりかえって		
保健													
体育							育ちゆくわたしⅠ			育ちゆくわたしⅡ			
道徳	主題名	本当の勇氣とは	みんなていっしょに	友達のために	自分のよさを見つけて伸ばす	大切な友達だから	思いやる心を伝えよう	心の内にある決まり	温かく気づかう心	大切な約束や決まり	人の気持ち考える	命の尊さ	誠実に生きる
	資料名	心にひびくかねの音	オトちゃんルール	二十五人へのおくりもの	花をさかせた水がめの話	わたしとさおりちゃん	心の信号機	雨のバス停留所で	心と心のあつく手	道子の赤い自転車	温かい言葉	お母さん、泣かないで	うそのつけないわか者
	価値	1-(3)勇氣	2-(3)友情・信頼、助け合い	2-(3)友情・信頼、助け合い	1-(5)個性伸長	2-(3)友情・信頼、助け合い	2-(2)思いやり・親切	4-(1)公德心、規則の尊重	2-(2)思いやり・親切	4-(1)公德心、規則の尊重	2-(2)思いやり・親切	3-(1)生命尊重	1-(4)反省、誠実・明朗
学級活動	・4年生になって ・家庭学習の仕方	・遠足を楽しもう	・他の学年の人と仲よくしよう	・1学期をふりかえって ・言葉について考えよう	・2学期を迎えて ・どんな友達がほしい？ ・いきいきとした友達関係をめざそう！ ・運動会を成功させよう	・ひまわり・たんぼぼ学級の友達を理解しよう ・あだかえっご発表会を成功させよう	・性教育「愛わっていくからだ（二次性徴）」	・学級の宝物 ・2学期をふりかえって	・3学期を迎えて ・性教育「いのちについて考えよう」	・学級の問題について話し合おう ・6年生を送る会に向けて	・1年間をふりかえって ・4年生さよならパーティーをしよう		
総合			人権の花										
					地域の発展に尽くした人々								
		英語に親しもう					英語に親しもう						
児童会行事等	入学式	児童総会 1年生を迎える会 遠足	いきいき集会		なかよし運動会	人権・同和教育授業公開 ホットハート週間	あだかえっご発表会			6年生を送る会	卒業式		
					「2分の1 成人式に向けて」				「2分の1 成人式」をしよう				

